

2019年9月27日

「自由が丘文化芸術大使」の八代亜紀さんが、 自由が丘駅の一日駅長に就任！！

東急株式会社

当社は、自由が丘駅改名90周年を記念し、「鉄道の日」の10月14日（祝・月）、歌手・画家で、文化芸術を通じて自由が丘の街を盛り上げる「自由が丘文化芸術大使」として活躍されている八代亜紀さんを、「自由が丘駅1日駅長」として任命します。

八代亜紀さんは自由が丘近隣に長年お住まいで、2006年に、自由が丘の駅やまちづくりについて考える、「みらいの自由が丘・駅とまちシンポジウム」にパネラーとして参加し、大学教授やそのほかの地元代表者などと共に、まちづくりについて話し合いました。また、「自由が丘文化芸術大使」に就任した2018年の女神まつりでは、「雨の慕情」や「舟唄」など往年のナンバーを含むスペシャルライブを開催し、多くの観衆が詰めかけました。2019年8月には、自由が丘でこどもと一緒にひまわりをモチーフとした油絵のワークショップを開催するなど、歌・絵画を通じて地域活動にも積極的に参加されています。

当日は、今回で47回目の開催となる「自由が丘女神まつり」の特設ステージで任命式とトークショーを行い、その後駅長として改札でのお客さま案内、列車監視などを行います。また、駅でのご案内放送の一部を八代さんの声で収録し、当日駅で放送します。また、今回のイベントを記念して、列車走行音と八代亜紀さんの声によるホーム案内放送を収録した、「東急線自由が丘駅開業90周年記念入場券 記念CDセット」の販売も予定しています。なお、入場券とCDのセット販売は、当社としては初めての取り組みです。CDは八代亜紀さんの苗字にちなんで846（やしろ）枚を製造し、845枚を販売します。

当社ではこのほか、自由が丘女神まつりの会場に、東急線キャラクター「のるるん」グッズや、電車グッズなどの販売ブースを出展するなど、自由が丘駅改名90周年、ならびに自由が丘女神まつりを盛り上げます。



▲90周年記念CD盘面



▲東急線自由が丘駅開業90周年記念入場券ジャケット・入場券



以上

【イベント概要】

■開催日:2019年10月14日(祝・月)

■スケジュール:一部 14時10分～25分 1日駅長任命式 トークショー
(場所:自由が丘女神まつり駅前特設ステージ)

二部 14時30分頃 駅改札にて乗降客案内
(場所:正面口改札付近)

14時45分頃 東急東横線内列車監視・列車出発合図
(場所:東急東横線6番線プラットホーム)

■開催場所:自由が丘駅前ロータリー 自由が丘女神まつりメインステージ/自由が丘駅構内

■参加方法:無料、事前申し込み不要

■その他:

- ・イベント風景の撮影は問題ありませんが、八代さんとのツーショット撮影はお控えください。
- ・会場の混雑状況や列車の運行状況により、一部イベント内容を変更する場合があります。
- ・ご見学に際しては、会場の係員の指示、誘導に従ってください。
- ・入場券付きのCDは自由が丘駅正面口付近で販売予定です。

【八代亜紀プロフィール】

八代亜紀 熊本県八代市出身。

1971年デビュー。1973年に出世作「なみだ恋」を発売。その後、「愛の終着駅」「もう一度逢いたい」「おんな港町」「舟唄」等、数々のヒット曲を出し、1980年には「雨の慕情」で第22回日本レコード大賞・大賞を受賞する。芸能生活40周年を迎えた2010年には、歌唱技術が認められ文化庁長官表彰を受賞。また絵画では、画家の登竜門とも言われる世界最古の美術展、フランスの「ル・サロン」で5年連続入選を果たし永久会員となる。

近年では、音楽のジャンルを超えた活動をしており、2012年には、ジャズアルバム「夜のアルバム」(ユニバーサルミュージック)が発売。

邦人アルバム史上最大級となる世界75ヶ国で配信される。2013年3月にはニューヨークの老舗ジャズクラブ「Birdland」でライブを行った。2015年10月に、初のブルースアルバム「哀歌-aiuta-」を発売。2016年、日本モンゴル文化大使に任命された。2017年10月11日には5年ぶりにジャズアルバム「夜のつづき」を発売。2018年6月にフレンチポップスの女王・シルヴィー・バルタンの日本最後の公演にゲスト出演、シルヴィーと共演。8月にはモンゴル国より「北極星勲章」を授与された。12月5日新曲「だいじょうぶ」を先行配信し、2019年2月6日には(ANZEN漫才・みやぞんとデュエットバージョンを含む)CD発売となる。同年4月からはBS11で、初の冠番組「八代亜紀いい歌いい話」の放送が開始した。



【自由が丘女神まつり2018の様子】

1973年に始まった「自由が丘女神まつり」は、自由が丘駅周辺を会場に、ステージ、フード、ショッピングを楽しむことができる催しです。駅前のメインステージでは、コンサートやキャラクターショーなどが行われ、ずらりと並ぶフードのブースではワインや秋の味覚などを満喫することができます。期間中の来場者数が延べ50万人にのぼる、賑やかなおまつりです。

2018年は10月8日のステージ最終ゲストに八代亜紀さんが登場。「自由が丘文化芸術大使」に就任。スペシャルライブにあわせて就任セレモニーも実施しました。

主催:自由が丘商店街振興組合 自由が丘女神まつり実行委員会



▲自由が丘女神まつり2018の様子

【入場券付き記念 CD 概要】

- 商 品 名: 東急線自由が丘駅開業90周年記念入場券 記念CDセット
八代亜紀1日駅長記念 アナウンス音声付
- 製 造 枚 数: 846枚 ※販売は845枚となります
- 販 売 場 所: 自由が丘駅改札窓口および特設コーナー
- 特 徴: 鉄道好きにはたまらない、自由が丘駅に乗り入れる大井町線と東横線の車内走行音を収録。合わせて、列車がホームの到着する際の案内放送アナウンスを特別に八代亜紀さんが吹き込みました。

【自由が丘駅改名90周年について】

■改名の由来:

近隣の古刹である九品仏浄真寺は9体の阿弥陀如来像を安置していることから「九品仏」(くほんぶつ)と呼ばれていたため、駅設置当時はこの最寄り駅として「九品仏駅」名づけられていました。大井町線の開業に伴いより寺に近い場所に「九品仏駅」が設置されることになったため、駅所在地が荏原郡碑衾村大字衾(ふすま)にあることから「衾駅」に改めるはずであったものの、ちょうどその頃に大字が自由ヶ丘に改められたため、これに合わせて駅名を「自由ヶ丘駅」に改称、その後1966年に現在の「自由が丘駅」となりました。

■駅名の変遷

- 1927年(昭和2年) 8月28日 東京横浜電鉄東横線の九品仏駅として開業。島式1面2線
- 1929年(昭和4年) 10月22日 自由ヶ丘駅に改称
- 11月01日 目黒蒲田電鉄大井町線が開通
- 1966年(昭和41年) 1月20日 自由が丘駅に改称

【「鉄道の日」について(出展:国土交通省)】

1872年(明治5年)10月14日新橋～横浜間に日本で最初の鉄道が開業したことを受け、それから122年後の1994年(平成6年)、その誕生と発展を記念し、毎年10月14日を「鉄道の日」と決めました。

鉄道が国民に広く愛され、その役割についての理解と関心がより深まることを願い、鉄道事業者、関係団体、国などが「鉄道の日」実行委員会を組織し、毎年多彩な行事を全国各地で実施しています。